

2017年 1 月29日 実施

平成28年度（第56回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング部門〉
第 2 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 9 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 【5】 【6】 は共通問題です。
5. 【7】 の問題は J a v a ・ マクロ言語のいずれか一つを選択し，解答用紙の選択言語を ☐ で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. プログラムを一行ずつ実行可能な形式に解釈しながら実行するソフトウェア。
2. 無線 LAN の一種で、機器同士が相互に接続できると認められた場合に、その機器に与えられる名称。
3. ソースコードが無償で公開されており、複製、改良、再配布などが自由に行えるソフトウェア。
4. あるデータを容易に解読できないように、決まった規則にしたがって変換すること。
5. 専用のソフトウェアを利用することで、環境に依存することなく元の文書とほぼ同様の状態で閲覧・印刷などができるファイル形式。

解答群

- | | | |
|-----------|--------|-------------|
| ア. インタプリタ | イ. ONU | ウ. Wi-Fi |
| エ. コンパイラ | オ. 暗号化 | カ. MIDI |
| キ. 復号 | ク. OSS | ケ. サイトライセンス |
| コ. PDF | | |

【2】 次の A 群の語句に最も関係の深い説明文を B 群から選び、記号で答えなさい。

- < A 群 >
- | | | |
|--------------|---------|-----------|
| 1. アクセスアーム | 2. RGB | 3. ピアツーピア |
| 4. セキュリティホール | 5. パケット | |

< B 群 >

- ア. ファイルサーバなどのサービスを提供するコンピュータと、そのサービスを利用するコンピュータの関係が存在するネットワーク形態。
- イ. ハードディスク装置において、データを読み書きする部分を目的の位置へ移動させるための部品。
- ウ. ソフトウェアの設計ミスなどによって生じる安全機能上の欠陥。
- エ. 光ファイバ回線などが実現する、高速、大容量、広帯域な通信環境。
- オ. ディスプレイ装置で色を表す際に、赤、緑、青の光の三原色を組み合わせでさまざまな色を表現する方式。
- カ. ネットワーク内部のコンピュータを保護するため、外部からの不正な侵入を防ぐしくみ。
- キ. データを一定のサイズに分割して、宛先などの制御情報を付加した送受信する際の伝送単位。
- ク. ハードディスク装置において、記録面のデータを直接読み書きする部分。
- ケ. コンピュータ間が対等な関係で、データの送受信などを行うネットワーク形態。
- コ. プリンタでカラー印刷する際に、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色でさまざまな色を表現する方式。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 20 と 2進数の 1 1 1 1 との差を表す10進数。

ア. 5	イ. 7	ウ. 35
------	------	-------
2. コンピュータの機種やOSの種類などに依存することなく実行可能な、オブジェクト指向型のプログラム言語。

ア. アセンブリ言語	イ. C言語	ウ. Java
------------	--------	---------
3. 米国に本部があり、主に工業技術の規格の策定などを行う、電気・電子分野における世界規模の学会。

ア. JIS	イ. IEEE	ウ. ISO
--------	---------	--------
4. 知的財産権のうち、特許権、実用新案権、意匠権、商標権の四つの権利の総称。

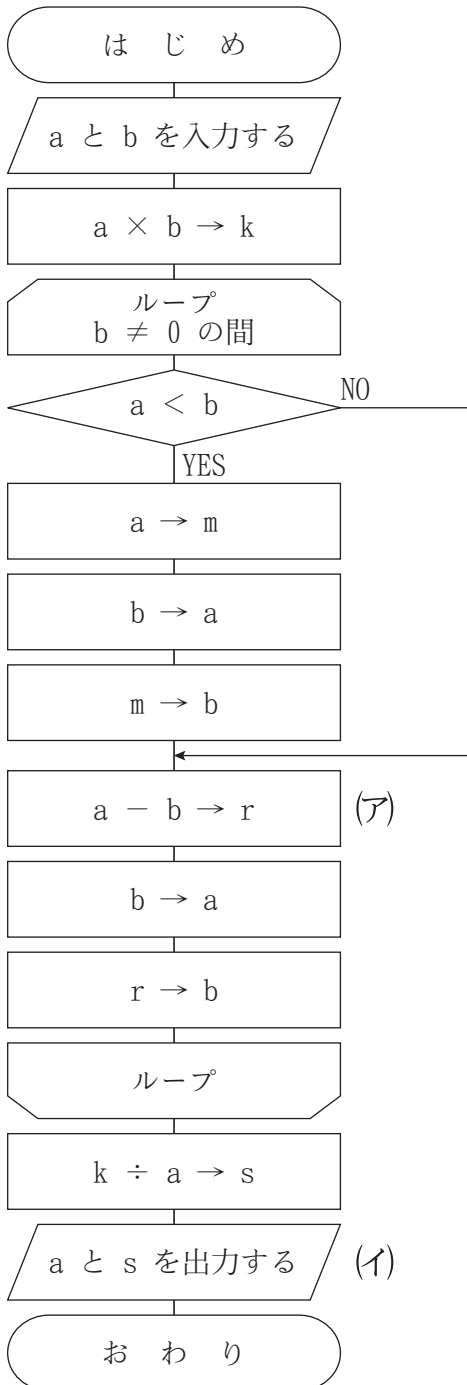
ア. 産業財産権	イ. 著作権	ウ. 肖像権
----------	--------	--------
5. プログラム中のある一定の範囲内で宣言された変数で、その範囲内のみ参照できる局所変数。

ア. オブジェクト	イ. グローバル変数	ウ. ローカル変数
-----------	------------	-----------

【 4 】 流れ図にしたがって処理するとき、(1)～(5)を答えなさい。なお、入力する a の値、 b の値は正の整数とする。

- (1) a の値が 10、 b の値が 16 のとき、(ア)の処理を 2 回目に実行したあとの r の値を答えなさい。
- (2) a の値が 10、 b の値が 16 のとき、(イ)で出力される s の値を答えなさい。
- (3) a の値が 12、 b の値が 33 のとき、(ア)の処理を何回実行するか答えなさい。
- (4) a の値が 12、 b の値が 33 のとき、(イ)で出力される a の値を答えなさい。
- (5) 流れ図の処理について説明した文のうち、正しいものはどれかア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. 出力される s の値は、必ず 8 の倍数である。
 - イ. 出力される s の値は、出力される a の倍数である。
 - ウ. 出力される s の値は、出力される a の値より小さい。

<流れ図>



【 5 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

観光名所別の客数データを読み、観光名所別客数一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

観光名所 (Kan)	日本人客数 (千人) (Nsu)	外国人客数 (千人) (Gsu)
×～×	××××	×××

(第 1 図)

実行結果

(観光名所別客数一覧) (単位：千人)					
(観光名所)	(日本人客数)	(外国人客数)	(計)	(外国人比率(%))	(備考)
○～○	1,095	122	1,217	10.0	*
△～△	426	47	473	9.9	
□～□	2,561	503	3,064	16.4	*
}	}	}	}	}	}
●～●	1,157	338	1,495	22.6	*
▲～▲	3,107	253	3,360	7.5	
■～■	2,984	135	3,119	4.3	
	(全ての観光名所外国人比率(%))			7.3	
	(最高の外国人比率(%))			22.6	

(第 2 図)

処理条件

- 第 1 図の入力データを読み、計と外国人比率(%)を次の計算式で求め、第 2 図のように表示する。なお、外国人比率(%)が 10 以上の場合、備考に * を表示する。

計 = 日本人客数 + 外国人客数

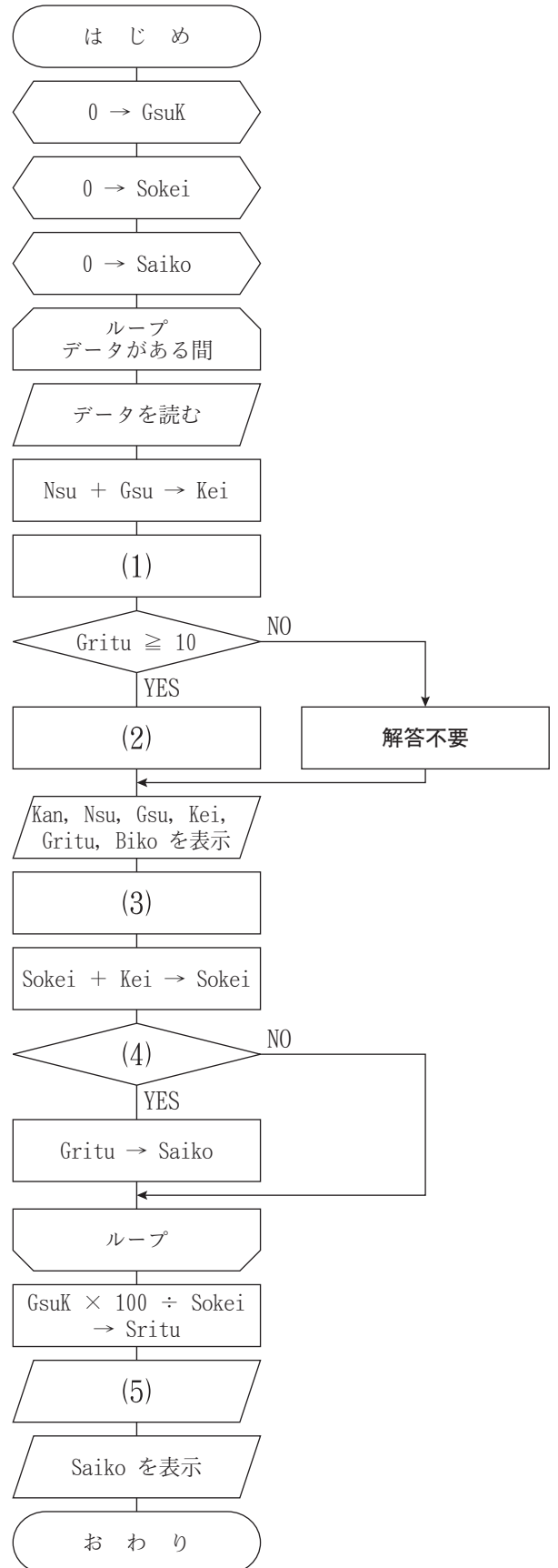
外国人比率(%) = 外国人客数 × 100 ÷ 計

- 入力データが終了したら、全ての観光名所外国人比率(%)と最高の外国人比率(%)を第 2 図のように表示する。
なお、最高の外国人比率(%)は同じ比率があった場合、先に入力されたデータを優先する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. "*" → Biko
イ. Gritu を表示
ウ. Gritu < Saiko
エ. GsuK + Gsu → GsuK
オ. Kei × 100 ÷ Gsu → Gritu
カ. Sritu を表示
キ. " " → Biko
ク. Gsu × 100 ÷ Kei → Gritu
ケ. Gritu > Saiko
コ. GsuK + Nsu → GsuK

<流れ図>



【 6 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

さつまいも農家の 1 日分の収穫データを読み、収穫一覧表と等級が 2S の袋詰め出荷状況をディスプレイに表示する。

入力データ

計測番号 (Bango)	重さ (g) (Omosa)
××××	××××

(第 1 図)

実行結果

(収穫一覧表)			
(等級)	(収穫本数)	(出荷箱数)	(残り本数)
S	616	17	4
M	429	21	9
L	473	36	5
2L	233	29	1
3L	194	32	2
(等級が 2S の袋詰め出荷状況)			
(袋数)	20 袋		
(袋詰めできなかった重さ)	66 g		

(第 2 図)

処理条件

- 第 1 図の重さ (g) は、収穫したさつまいも 1 本あたりの重さが記録されている。なお、重さ (g) は 9999 以下である。
- 配列 Kijun に基準となる重さ (g) を、配列 Tokyu に等級を、配列 Honsu に等級が 2S 以外の 1 箱あたりの本数を記憶する。
なお、各配列は添字で対応している。

配列

Kijun	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	99	199	349	499	699	9999
	(～99g)	(100g～199g)	(200g～349g)	(350g～499g)	(500g～699g)	(700g～9,999g)
Tokyu	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	2S	S	M	L	2L	3L
Honsu	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		36	20	13	8	6

- 第 1 図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 重さ (g) をもとに配列 Kijun を探索し、等級が 2S 以外の場合、配列 Syukei に本数を集計する。なお、Syukei は Kijun と添字で対応している。

配列

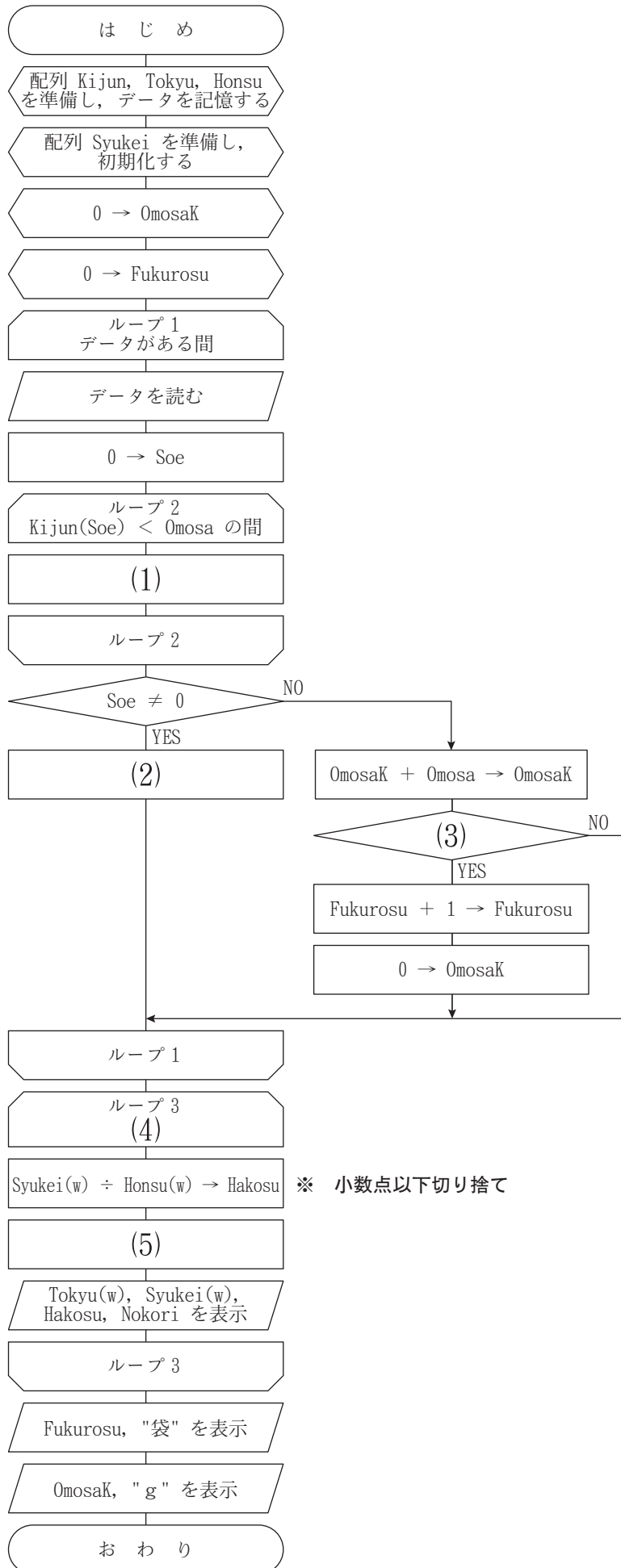
Syukei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

- 等級が 2S の場合、袋詰め出荷するために重さを集計し、集計した重さが 500 を超えるごとに袋数に 1 を加算する。
- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 等級が S から 3L までの出荷箱数と残り本数を次の計算式で求め、第 2 図のように表示する。
 出荷箱数 = 収穫本数 ÷ 1 箱あたりの本数 (小数点以下切り捨て)
 残り本数 = 収穫本数 - 出荷箱数 × 1 箱あたりの本数
 - 等級が 2S の袋詰め出荷状況を第 2 図のように表示する。
 - データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. w は 0 から 1 ずつ増やして $w < 5$ の間
 イ. $Syukei(w) - Hakosu \times Honsu(w) \rightarrow Nokori$
 ウ. $Soe - 1 \rightarrow Soe$
 エ. $Syukei(Soe) + 1 \rightarrow Syukei(Soe)$
 オ. $Hakosu - Syukei(w) \times Honsu(w) \rightarrow Nokori$
 カ. $OmosaK > 500$
 キ. w は 1 から 1 ずつ増やして $w \leq 5$ の間
 ク. $OmosaK \leq 500$
 ケ. $Honsu(Soe) + 1 \rightarrow Honsu(Soe)$
 コ. $Soe + 1 \rightarrow Soe$

< 流れ図 >



【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

＜プログラムの説明＞

処理内容

フラワーショップの販売データを読み、集計結果を表示する。

入力データ

販売データ（ファイル名：hanbai.csv）

日付	店舗コード	注文コード	数量	単価
××××	×	××××	××	×××××

（第1図）

実行結果

```

店舗コードを入力してください => 1
オンラインショップ
（分類名）（金額合計）（数量合計）（平均単価）（判定）
アレンジ      327,200      60      5,453      ○
ブライダル     324,000      68      4,764
プリザーブド   266,400      43      6,195      ◎
花束           184,600      44      4,195
その他         317,400     107      2,966
店舗コードを入力してください => 3
大阪店
}
店舗コードを入力してください => 0
    
```

（第2図）

処理条件

- 第1図の店舗コードは、1（オンラインショップ）～3（大阪店）である。
- 第1図の注文コードは、次の例のように構成されている。なお、分類コードは、1（アレンジ）～5（その他）の5種類である。

例 1 3 4 8 → 1 3 4 8
 分類コード 商品コード

- 店舗情報を管理する Tenpo クラスをインスタンス化し、配列 tp に記憶する。なお、tp の添字は店舗コードと対応している。

配列

tp	(0)	(1)	(2)	(3)
	(オンラインショップ)	(東京店)	(大阪店)	

- 配列 bunMei に分類名を記憶する。なお、bunMei の添字は分類コードと対応している。

配列

bunMei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		アレンジ	ブライダル	プリザーブド	花束	その他

- 第1図の販売データを読み、次の処理を行う。
 - 金額を次の計算式で求め、配列 kin に集計する。なお、kin の添字は分類コードと対応している。

金額 = 数量 × 単価

配列

kin	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

- 配列 su に数量を集計する。なお、su の添字は分類コードと対応している。

配列

su	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

- データを読み終えたあと、キーボードから店舗コードが入力されたら、次の処理を行う。
 - 分類ごとの平均単価を次の計算式で求める。

平均単価 = 金額合計 ÷ 数量合計
 - 判定は、平均単価が 6000 以上の場合 ◎，5000 以上 6000 未満の場合 ○ とする。
 - 分類名から判定までを第2図のようにディスプレイに表示する。
- キーボードから 0 が入力されたら処理を終了する。

(注) Integer.parseInt(文字列型)

文字列型のデータを数値型（整数）に変換する。

< J a v a プログラム >

// クラス Tenpo

```

public class Tenpo {
    public String tenMei;
    public String[] bunMei = { "", "アレンジ      ", "ブライダル   ", "プリザーブド", "花束          ", "その他        " };
    public int[] kin = new int[6];
    public int[] su = new int[6];
    public Tenpo(String tenMei) {
        this.tenMei = tenMei;
    }
    public void keisan(int tyuCode, int suryo, int tanka) {
        int bunCode = tyuCode / 1000;
        int kingaku = suryo * tanka;
        kin[bunCode] = kin[bunCode] + kingaku;
        su[bunCode] = (1);
    }
    public void hyoji() {
        System.out.println(tenMei);
        for(int (2); i <= 5; i++) {
            int heikin = kin[i] / su[i];
            String hantei;
            if((3) {
                hantei = "◎";
            } else if(heikin >= 5000) {
                hantei = "○";
            } else {
                hantei = " ";
            }
            System.out.printf(" %6s %9d      %3d      %5d      %1s¥n", bunMei[i], kin[i], su[i], heikin, (4));
        }
    }
}

```

// クラス FlowerShop

```

import java.io.BufferedReader;
{

```

```

public class FlowerShop {
    public static void main(String[] args) throws IOException {
        Tenpo[] tp = new Tenpo[4];
        tp[1] = new Tenpo("オンラインショップ");
        tp[2] = new Tenpo("東京店");
        tp[3] = new Tenpo("大阪店");
        BufferedReader fileIn = new BufferedReader(new FileReader("hanbai.csv"));
        String line;
        while((line = fileIn.readLine()) != null) {
            String[] str = line.split(",");
            int hiduke = Integer.parseInt(str[0]);
            int tenCode = Integer.parseInt(str[1]);
            int tyuCode = Integer.parseInt(str[2]);
            int suryo = Integer.parseInt(str[3]);
            int tanka = Integer.parseInt(str[4]);
            tp[tenCode].keisan(tyuCode, suryo, tanka);
        }
        fileIn.close();
        Scanner sc = new Scanner(System.in);
        System.out.print("店舗コードを入力してください => ");
        int nyuCode = sc.nextInt();
        while(nyuCode != 0) {
            (5).hyoji();
            System.out.print("店舗コードを入力してください => ");
            nyuCode = sc.nextInt();
        }
        sc.close();
    }
}

```


【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ある月の天気データと太陽光発電の発電データを読み、分析結果を表示する。

入力データ

天気データ (ファイル名: tenki.csv)

日付	天気コード
××	×

(第1図)

発電データ (ファイル名: hatuden.csv)

日時	発電量 (kWh)
××××	×.××

(第2図)

ユーザーフォーム・実行結果

<月間の発電量と売電金額> <table> <tr> <td>日数</td> <td>30</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>平均発電量</td> <td>29.14</td> <td>kWh</td> </tr> <tr> <td>合計金額</td> <td>23,603</td> <td>円</td> </tr> </table> (Label1)						日数	30	日	平均発電量	29.14	kWh	合計金額	23,603	円																																	
日数	30	日																																													
平均発電量	29.14	kWh																																													
合計金額	23,603	円																																													
入力欄 分析対象の天気コード 2 (TextBox1) 分析 終了																																															
<分析対象の発電量と売電金額> <table> <tr> <th>天気</th> <th>曇り</th> <th>日</th> <th>発電量</th> <th>売電金額</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(Label12)</td> <td>2</td> <td>37.61</td> <td>1,015</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>27.12</td> <td>732</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>?</td> <td>?</td> <td>?</td> <td>?</td> </tr> <tr> <td>日数</td> <td>12</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均発電量</td> <td>24.10</td> <td>kWh</td> <td>19</td> <td>10.90</td> <td>294</td> </tr> <tr> <td>合計金額</td> <td>7,808</td> <td>円</td> <td>25</td> <td>28.46</td> <td>768</td> </tr> </table> (Label13) (Label14) (Label15) (Label16) (Label17)						天気	曇り	日	発電量	売電金額	評価		(Label12)	2	37.61	1,015	◎			7	27.12	732	○			?	?	?	?	日数	12	日				平均発電量	24.10	kWh	19	10.90	294	合計金額	7,808	円	25	28.46	768
天気	曇り	日	発電量	売電金額	評価																																										
	(Label12)	2	37.61	1,015	◎																																										
		7	27.12	732	○																																										
		?	?	?	?																																										
日数	12	日																																													
平均発電量	24.10	kWh	19	10.90	294																																										
合計金額	7,808	円	25	28.46	768																																										

(第3図)

処理条件

- 第1図の天気データは、日付の昇順に記録されている。なお、天気コードは、1（晴れ）～3（雨）の3種類であり、1か月間毎日のデータがある。
- 第2図の発電データの日時は、次の例のように構成されている。なお、発電量 (kWh) は、1時間ごとの発電量が記録されている。

例 1 9 1 3 → 1 9 1 3
日 時間帯

- ユーザーフォーム初期化時に次の処理を行う。
 - 配列 Tenki に天気を記憶する。なお、Tenki の添字は天気コードと対応している。

配列

Tenki	(0)	(1)	(2)	(3)
		晴れ	曇り	雨

- 第1図の天気データを読み、配列 Tco に天気コードを記憶する。なお、天気データの件数は31件以内である。また、Tco の添字は日付と対応している。

配列

Tco	(0)	(1)	(2)	～	(29)	(30)	(31)
		3	2	～	1	1	

- 第2図の発電データを読み、配列 Hsyu に発電量 (kWh) を集計する。なお、Hsyu の添字は日と対応している。また、Hsyu(0) は総計用に利用する。

配列

Hsyu	(0)	(1)	(2)	～	(29)	(30)	(31)
				～			

(総計)

- インプットボックスから売電単価 (円/kWh) を入力する。
 - 月間の平均発電量と月間の合計金額を次の計算式で求め、月間の日数から合計金額までを Label11 に表示する。
 月間の平均発電量 = 発電量の総計 ÷ 月間の日数
 月間の合計金額 = 発電量の総計 × 売電単価
- 第3図のように、分析対象の天気コードを TextBox1 に入力し、「分析」ボタンをクリックすると次の処理を行う。
 - 天気を Label12 に表示する。
 - 評価の基準値を次の計算式で求める。
 評価の基準値 = 月間の平均発電量 × 0.7
 - 分析対象の日から評価までを Label14 から Label17 にそれぞれ表示する。なお、評価は、発電量が月間の平均発電量以上の場合 ◎、月間の平均発電量未満で評価の基準値以上の場合 ○ を表示する。
 - 分析対象の平均発電量を求め、分析対象の日数から合計金額までを Label13 に表示する。

< マクロ言語プログラム >

```
Option Explicit
Dim Tenki(3) As String, Cnt As Long, Tco(31) As Long, Hsyu(31) As Double, Tanka As Long, Heikin As Double
```

```
Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim Hiduke As Long, Tcode As Long, Nitiji As Long, Hryo As Double, Hi As Long, Gokei As Long
    Label1.Caption = "": TextBox1.Text = ""
    Call Syokika
    Tenki(1) = "晴れ": Tenki(2) = "曇り": Tenki(3) = "雨"
    Open ThisWorkbook.Path & "¥tenki.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        Input #1, Hiduke, Tcode
        Cnt = Cnt + 1
        Tco(Cnt) = Tcode
    Loop
    Close #1
    Open ThisWorkbook.Path & "¥hatuden.csv" For Input As #2
    Do While Not EOF(2)
        Input #2, Nitiji, Hryo
        Hi = Int(Nitiji / 100)
        Hsyu(Hi) = (1)
        Hsyu(0) = Hsyu(0) + Hryo
    Loop
    Close #2
    Tanka = InputBox("売電単価 (円／kWh) を入力")
    Heikin = Hsyu(0) / Cnt
    Gokei = Hsyu(0) * Tanka
    Label1.Caption = Format(Cnt, "#0") & Chr(13) & Chr(10) &
        Format(Heikin, "#0.00") & Chr(13) & Chr(10) & _
        Format(Gokei, "##,##0")
End Sub
```

```
Private Sub 分析_Click()
    Dim BTcode As Long, Hkijun As Double, p As Long, Kingaku As Long, Hyoka As String
    Dim BCnt As Long, Hryokei As Double, BHeikin As Double, BGokey As Long
    Call Syokika
    BTcode = Val(TextBox1.Text)
    Label2.Caption = Tenki(BTcode)
    Hkijun = Heikin * 0.7
    For (2) To Cnt
        If Tco(p) = BTcode Then
            Label4.Caption = Label4.Caption & Format(p, "#0") & Chr(13) & Chr(10)
            Label5.Caption = Label5.Caption & Format(Hsyu(p), "#0.00") & Chr(13) & Chr(10)
            Kingaku = Hsyu(p) * Tanka
            Label6.Caption = Label6.Caption & Format(Kingaku, "#,##0") & Chr(13) & Chr(10)
            If (3) Then
                Hyoka = "◎"
            ElseIf Hsyu(p) >= Hkijun Then
                Hyoka = "○"
            Else
                Hyoka = " "
            End If
            Label7.Caption = Label7.Caption & (4) & Chr(13) & Chr(10)
            BCnt = BCnt + 1
            Hryokei = Hryokei + Hsyu(p)
        End If
    Next p
    BHeikin = Hryokei / BCnt
    BGokey = Hryokei * Tanka
    Label3.Caption = Format((5), "#0") & Chr(13) & Chr(10) &
        Format(BHeikin, "#0.00") & Chr(13) & Chr(10) & _
        Format(BGokey, "##,##0")
End Sub
```

```
Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokika()
    Label2.Caption = "": Label3.Caption = "": ~ Label6.Caption = "": Label7.Caption = ""
End Sub
```

(平成29年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成28年度（第56回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小 計

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			回		

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小 計

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語]

【7】	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語	
		J a v a	マ ク ロ 言 語

小 計

合 計

選択言語を で囲むこと

(平成29年 1 月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成28年度（第56回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
審 査 基 準

【1】

1	2	3	4	5
ア	ウ	ク	オ	コ

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
イ	オ	ケ	ウ	キ

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	ウ	イ	ア	ウ

各2点
計10点

小 計
30

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
4	80	6 回	3	イ

各3点
計15点

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ク	ア	エ	ケ	カ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
コ	エ	カ	キ	イ

各3点
計15点

小 計
45

..... [J a v a] ・ [マクロ言語]

[J a v a] (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】

(1)	s u [b u n C o d e] + s u r y o
(2)	i = 1
(3)	h e i k i n >= 6 0 0 0
(4)	h a n t e i
(5)	t p [n y u C o d e]

[マクロ言語] (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】

(1)	H s y u (H i) + H r y o
(2)	p = 1
(3)	H s y u (p) >= H e i k i n
(4)	H y o k a
(5)	B C n t

各5点 計25点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		小 計	合 計
		J a v a	マクロ言語	25	100

選択言語を で囲むこと